

## 三陸沿岸道路と東北横断自動車道が連結して1年 開通効果、交通状況の変化について

－ 物流機能向上による生産性向上 －

－ 観光面で三陸沿岸地域の近さを実感、リピート観光へも期待 －

岩手県の復興道路・復興支援道路は、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石-花巻間）が平成31年3月9日、三陸沿岸道路 気仙沼-宮古間が令和元年6月22日に、1本の高速道路で結ばれました。

この度、開通から概ね1年の効果と交通状況の変化についてお知らせ致します。

### 「物流機能向上による産業の効率化」

- ・ 物流機能の向上によりコンテナ取扱量が過去最高に
- ・ 内陸中心の物流から三陸沿岸との2軸連携の物流へ

### 「地場産業の支援」

- ・ 岩手県が誇る三陸産あわびの鮮度を維持
- ・ 水産加工品の生産効率を向上

### 「観光における地域活性化、RWC観客輸送実績と周辺観光の効果」

- ・ 復興道路・復興支援道路沿線「道の駅」と観光振興
- ・ ラグビーワールドカップ2019™釜石開催 観客輸送と周遊観光

### 【参考】交通状況

#### ○開通後の都市間交通量

|          |            |           |
|----------|------------|-----------|
| 三陸沿岸道路   | 陸前高田市-大船渡市 | 13,700台/日 |
| 〃        | 大船渡市-釜石市   | 6,000台/日  |
| 〃        | 釜石市-宮古市    | 12,100台/日 |
| 東北横断自動車道 | 釜石市-遠野市    | 8,400台/日  |
| 〃        | 遠野市-花巻市    | 10,200台/日 |

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

#### 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所 (代表)電話:0193-28-4731

副 所 長 古川 哲 治(内線204)

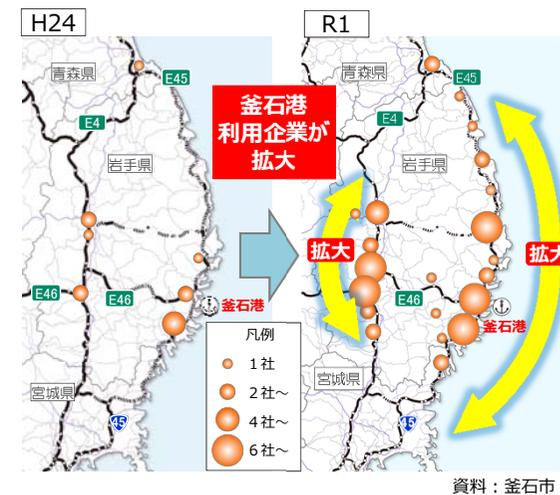
# 物流機能の向上によりコンテナ取扱量が過去最高に

- ◆ 釜石港のコンテナ取扱量、利用企業数が年々増加、令和元年も過去最高を記録。
- ◆ 内陸にある企業は、取扱量の約半数を釜石港を利用し、輸送コストや商品の安定供給を実現。
- ◆ 物流を担う企業は、輸送時間が短縮し、1日1往復から2往復が可能となり、ドライバーの負担軽減や輸送コスト削減を実現。

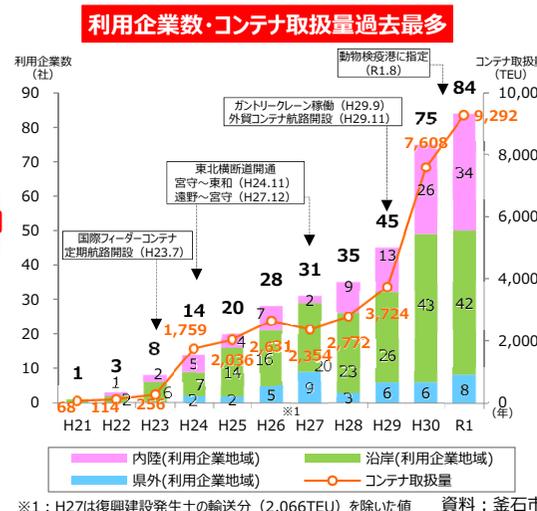
## ■ 内陸部と釜石港の物流ルート



## ■ 釜石港利用企業数の自治体別変化

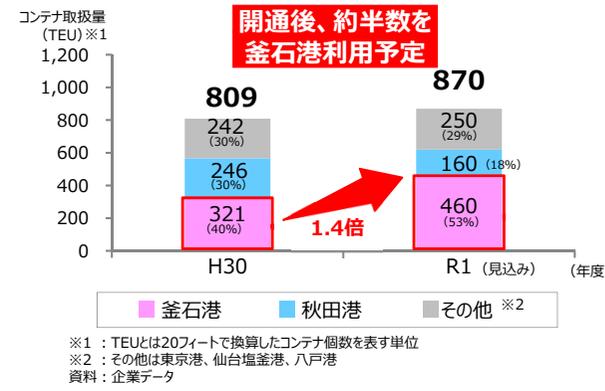


## ■ 釜石港利用企業数・コンテナ取扱量の推移



## ■ 花巻市に物流センターを持つ小売企業

### ■ 日用雑貨取扱い企業の港別コンテナ取扱量の推移



## ■ 日用雑貨取扱い企業の声

- ・陸上輸送コストの低減と輸送時間短縮が可能となったため、釜石港からの輸送を開始しました。
- ・現在は取扱量の半分を釜石港で荷揚げをしています。
- ・港から輸送拠点までの輸送環境が整備されたことで、商品の安定供給につながっています。



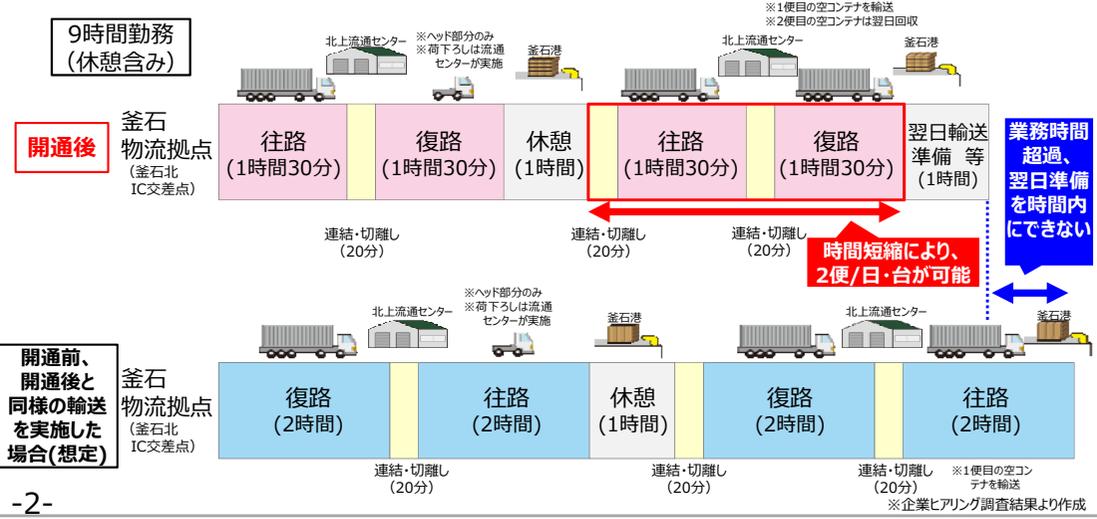
## ■ 釜石市に立地する物流企業

### ■ 自動車部品の輸送を担う企業の声

- ・開通により、輸送時間が片道約30分短縮されました。1台で1日2往復も可能になり、生産性が高まり、輸送コスト削減にもつながっています。



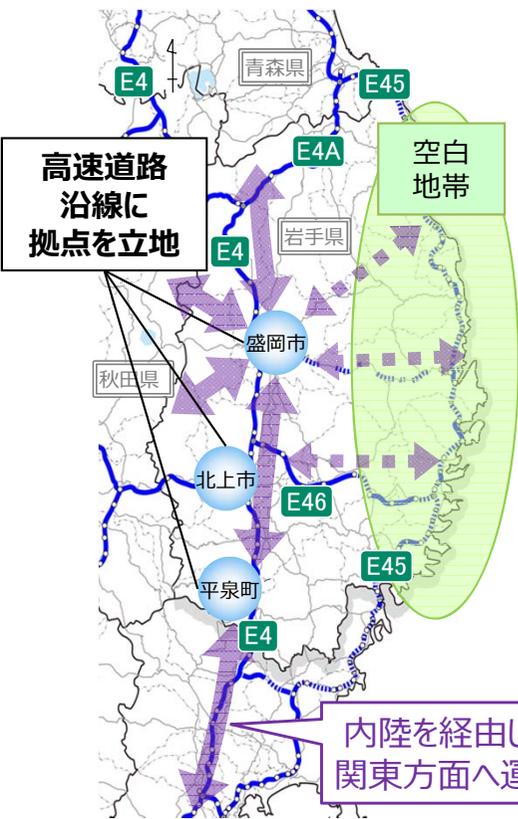
## ■ 北上流通センターまでのトラックドライバーのタイムスケジュールの変化



# 内陸中心の物流から三陸沿岸との2軸連携の物流へ

- ◆三陸沿岸の輸送事業は盛岡市や北上市等内陸拠点経由中心の物流から、東北縦貫道と三陸道、釜石道の2軸連携の物流へ変化。
- ◆大手輸送事業者は、復興道路・復興支援道路の供用を見越し、釜石・久慈・気仙沼営業所を開設。三陸道を軸とし、釜石道を内陸・沿岸の連携軸とした業務を開始。釜石営業所の取扱量は、営業所開設当時から取扱量が倍増。

■ H28年3月以前の出店エリアと輸送ルート

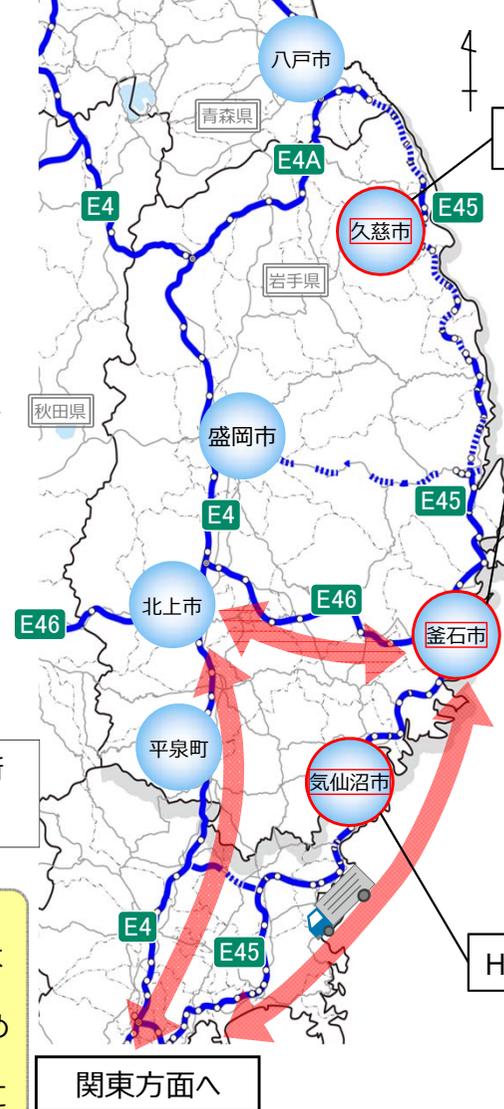


三陸沿岸地域進出の計画は以前からあったが、高速道路がなかったため踏み切れなかった。

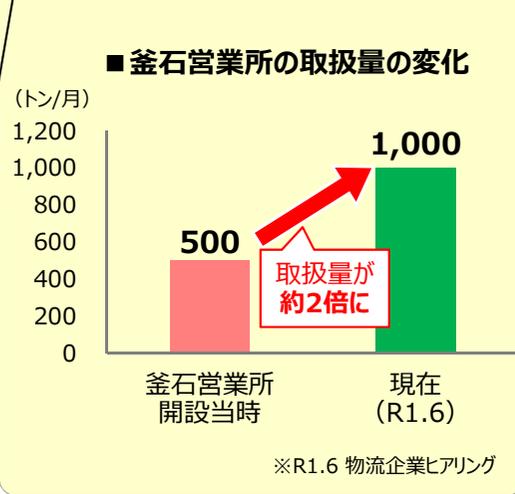
三陸沿岸地域は空白地帯で同業他社に依頼

● : 支店・営業所  
 → : 輸送ルート (沿岸)  
 - - - : 輸送ルート (同業他社)

■ R1年6月時点の出店エリア・輸送状況



H28年3月 釜石営業所 操業開始



■ 道路整備による効果・期待

- ・釜石営業所では道路開通により、内陸を経由することなく三陸道ルートで関東方面への輸送が出来るようになっています。
- ・宮古市エリアからの取扱量が増えています。輸送時間が短縮されたことで、集荷時間に余裕が出来るため **新たな顧客を回れる**など、**ドライバーの業務効率化**につながっています。
- ・三治道全線開通後は内陸を経由する必要がなくなるため、**中1日かかる配送が翌日に配送**できるようになるなど、**輸送効率化が期待**されます。

(H27.8,H29.5,R1.6 運送業者ヒアリング結果)

# 岩手県が誇る三陸産あわびの鮮度を維持

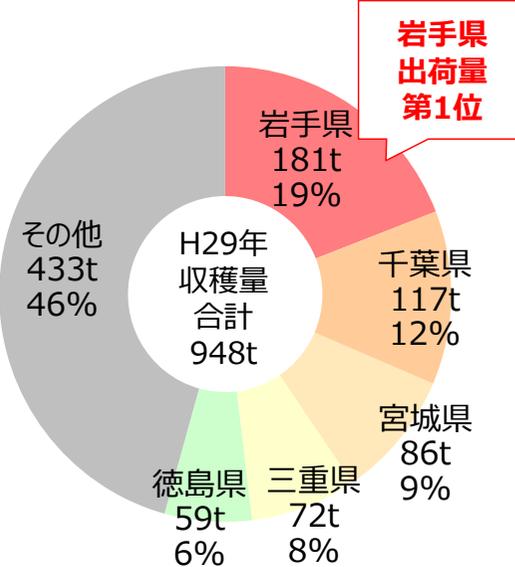
- ◆岩手県ではあわびの収穫量が全国一位。大船渡市の水産事業者では、三陸沿岸で仕入れた出荷に適したサイズのあわびを三陸沖の海水で蓄養※し、関東圏の生け簀を経由し、販売。
- ◆あわびの輸送は水槽で活きた状態で輸送するため、鮮度確保が重要であり、三陸道利用により安定的な輸送が実現出来ている。



- ・三陸沿岸の各漁港で収穫されるあわびを集荷し、大船渡市で蓄養
- ・関東圏の生け簀を経由して出荷
- ・通年での出荷を可能とし、市場価値が高い時期に販売



## ▼全国収穫量(都道府県別) あわび類 (H29)



※蓄養とは、捕獲したあわびなどを生け簀で育てること。



資料：H29海面漁業生産統計調査（農林水産省）

## ■道路整備による効果・期待

- ・生きた状態で水槽に入れてトラック輸送しており、**鮮度が重要のため浜からは急いで輸送**しています。
- ・水槽車を使用しており、水のこぼれなどに気を付けながら走行しています。開通区間ではきつい**カーブ等を避けて通れる**ようになったので走行時のストレスが少なくなり安心感が増しました。
- ・関東方面への出荷時、志津川IC～南三陸海岸ICなどの開通により、平成29年3月頃から**東北道から三陸道に経路を変更**しました。開通による時間短縮で時間が読みやすくなりました。
- ・今後の全線開通により、**遠方漁港への入荷頻度増加**の期待や、鮮度維持による**商品の付加価値向上**などが期待できます。

(R2.1企業ヒアリング結果)

# 水産加工品の生産効率を向上

- ◆ 釜石市内の水産加工業者では三陸沿岸各地からウニなどの水産品を入荷し、加工品を生産、出荷。
- ◆ 商品発送は所定時刻となっており、復興道路等の整備による輸送時間短縮によって、原料到着から商品発送までの作業工程が円滑化し、生産性が向上している。

## ▼原料輸送ルート为例



三陸沿岸各漁港から入荷

## ▼生ウニ



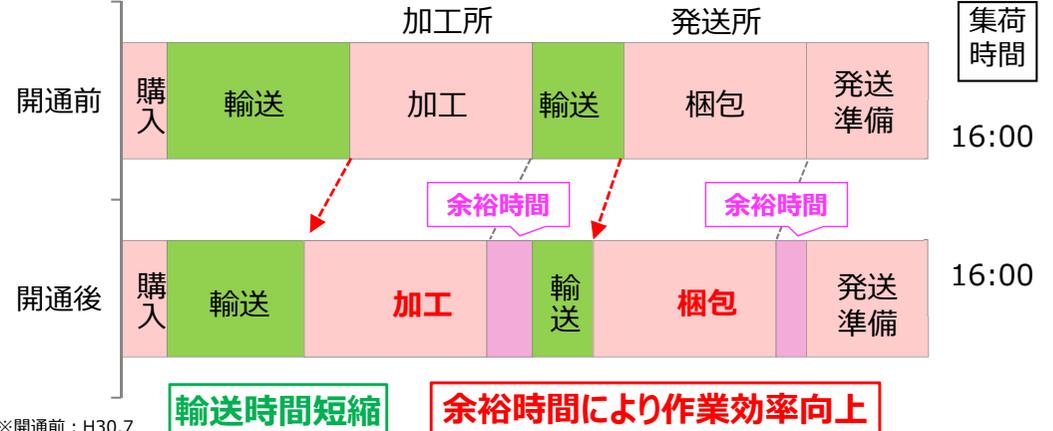
■ 洋野町～釜石市  
 H22 :約230分  
 R1 :約180分  
 開通後:約130分

■ 田野畑村～釜石市  
 H22 :約130分  
 R1 :約100分  
 開通後:約70分

■ 気仙沼市～釜石市  
 H22 :約90分  
 R1 :約70分  
 開通後:約60分

冷凍庫 (気仙沼市)

## ▼輸送時間短縮による作業工程の変化 (ウニ加工品の例)



資料: 企業ヒアリング調査結果

## ▼加工所から発送所への輸送



## ▼加工品の例



資料: 企業HP

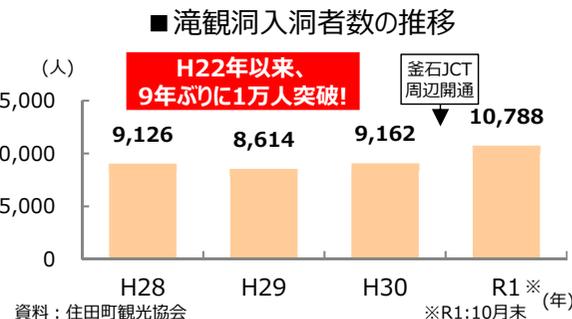
## ■水産加工業者の声

- ・輸送時間短縮によって、原料の加工から商品発送までの物流がスムーズになり、**原料到着の待ち時間が減少し、作業効率が向上、残業時間の縮減**につながっています。
- ・**国道283号の混雑が大幅に解消**したので、時間に余裕が生じ、品質の向上や**生産性の向上**につながっています。

(R1.7 企業ヒアリング調査結果)

# 復興道路・復興支援道路沿線「道の駅」と観光振興

- ◆三陸道、釜石道の接続により、沿線の観光地や道の駅では来客者増など活性化。
- ◆花巻空港の国際定期便就航と高速交通網の相乗効果で観光地ではインバウンドが倍増、今後、沿岸部を巡る周遊観光についても期待。
- ◆交流人口拡大に向け、復興道路・復興支援道路を契機とした観光誘客の取組みも実施、観光振興を支援。



### 滝観洞 管理事業者のコメント

- 釜石JCT周辺区間の開通により、入洞者数が増加しています。
- 道路整備による入込増加を見越して、洞内のライトアップや案内看板の新設を進めてきた。これも増加の要因となっています。
- 宣伝チラシの配布範囲について、開通後は通常の地域の他に内陸部の北上市や花巻市にも実施し、宣伝広告に力を入れました。

(R1.12 ヒアリング結果)

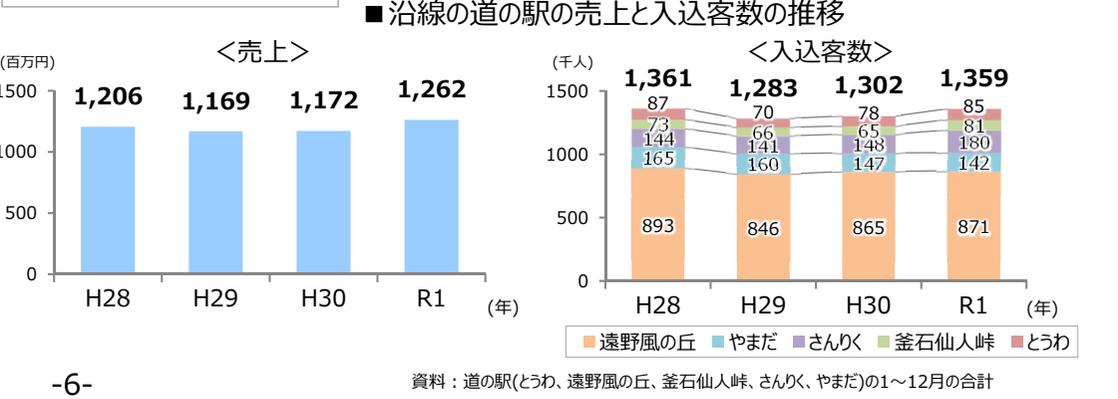
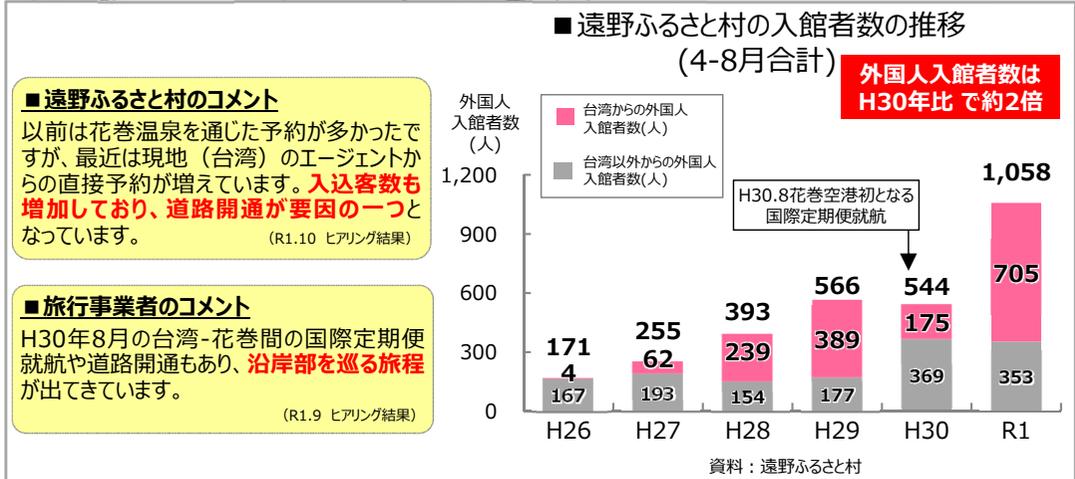


### 道の駅さんりくのコメント

【道の駅さんりく】トイレ改修 (H30.6)

- トイレ改修と道路開通の効果で入込客数、売上額が増加。以前よりも観光バスの立ち寄りが増え、1日の売上額は約20万円増加しています。
- 開通前は通過の懸念があったため、広報活動やトイレ改修等の取組みを進めていましたが、ICへのアクセシビリティがメリットとなっています。

(R1.9 ヒアリング結果)



# ラグビーワールドカップ2019™釜石開催 円滑な観客輸送を実現

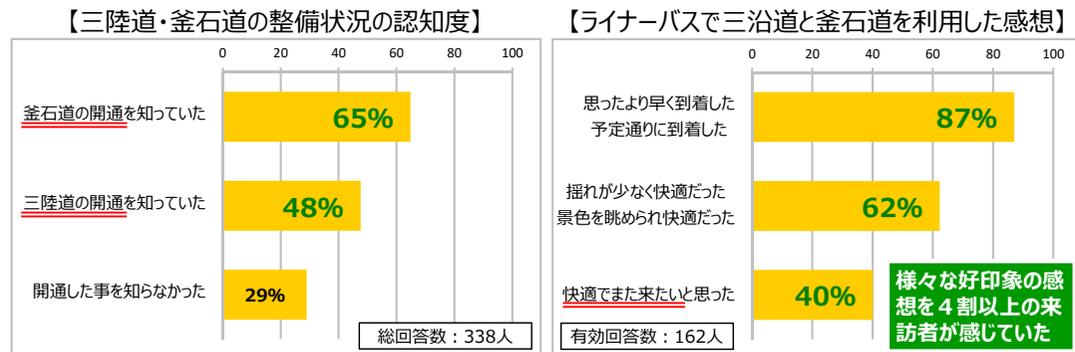
- ◆大会当日は約1.4万人が来場、事前登録の「バス輸送システム」を約半数の7千人が利用して、復興道路等を通行し滞りなく送迎。
- ◆三陸道・釜石道の開通は、約5～7割の方が認識しており、「早く到着した」等、三陸沿岸地域の近さを実感する声が寄せられた。
- ◆大会当日の交通量は平日とほぼ同等で、高規格道路と並行国道が適切に分担してバス輸送を支え、円滑な観客輸送が実施された。

## ■ 来場者数及びライナーバス等の乗車数

資料：岩手県文化スポーツ部ラグビーワールドカップ2019推進室 提供



## ■ 来場者の道路整備状況への認知度・道路を利用した感想



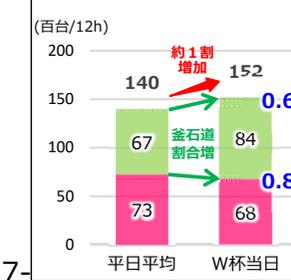
出典：復興道路・復興支援道路に関するアンケート調査結果（南三陸国道事務所）

## ■ 三陸道と釜石道、並行国道の交通量

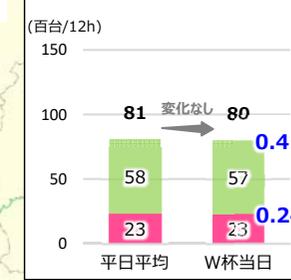
※12時間交通量（7時～19時）  
W杯当日：R1.9.25(水)  
平日平均：R1.9.24(火)・26(木)の2日間平均



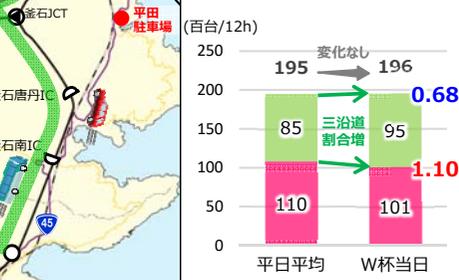
### 【釜石JCT～釜石仙人峠IC】



### 【大槌IC～山田南IC】



### 【釜石中央IC～釜石両石IC】

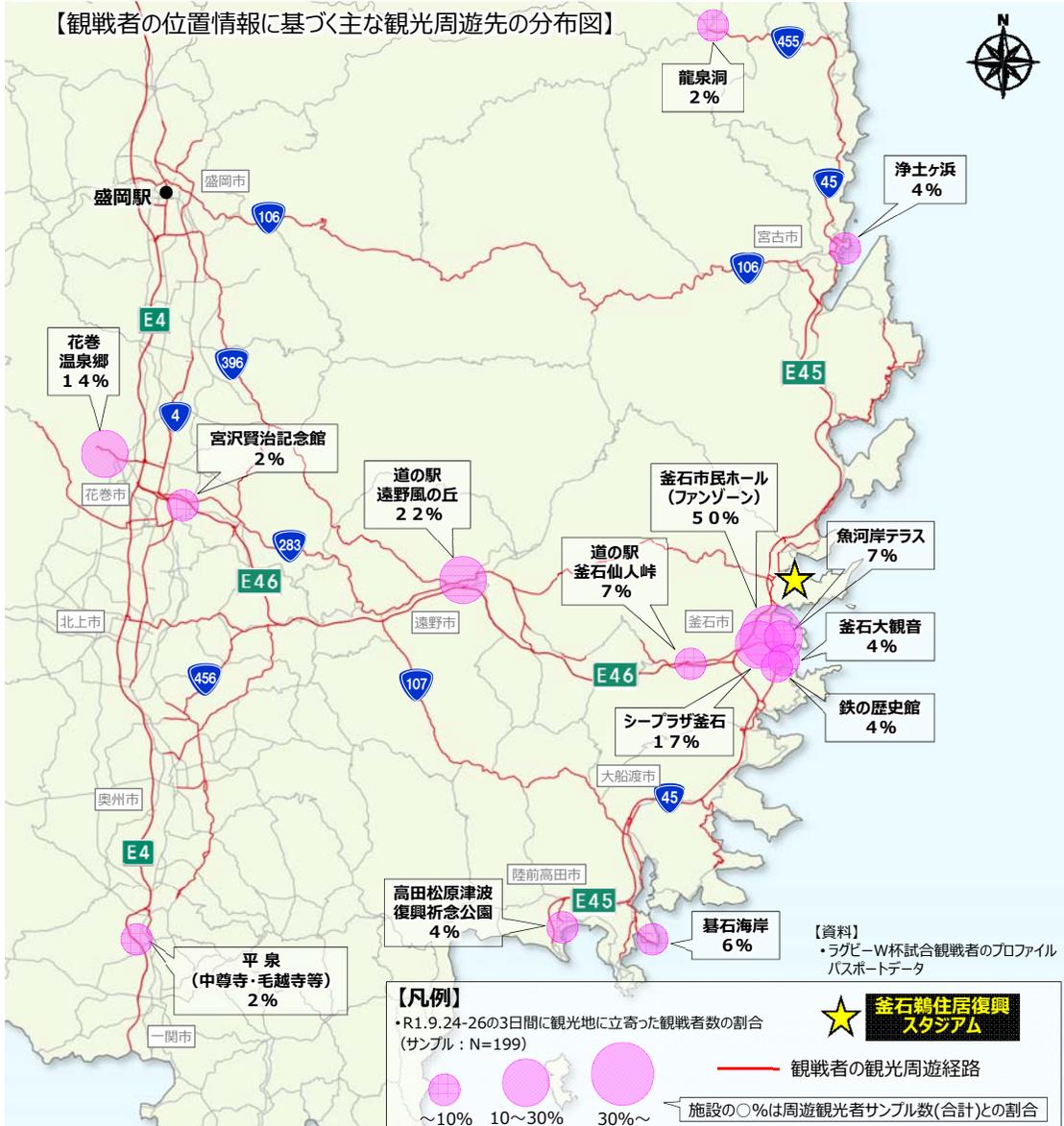


# ラグビーワールドカップ2019™釜石開催 周遊観光の状況

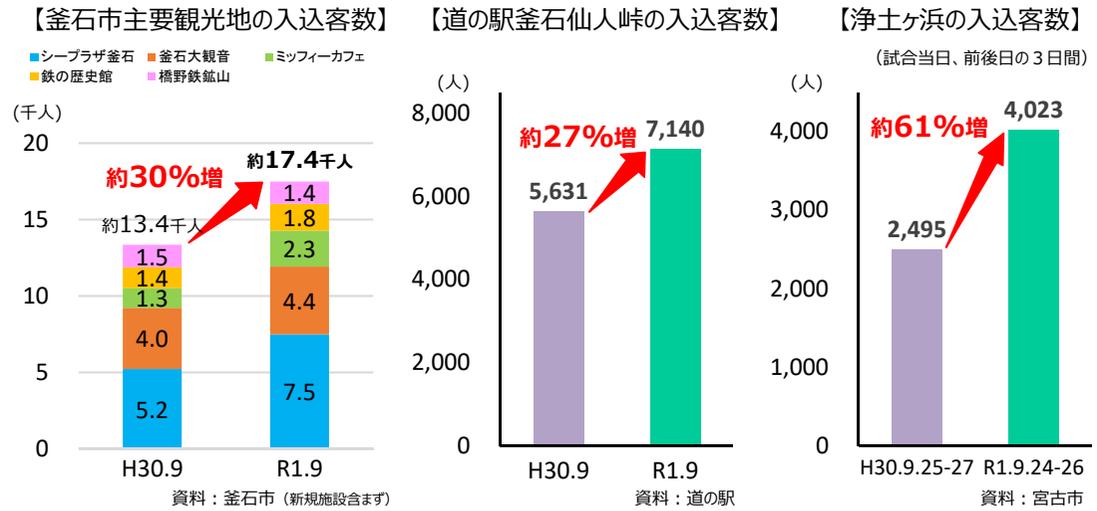
- ◆ラグビー観戦者は釜石市内の観光の他、浄土ヶ浜や碁石海岸、花巻温泉や平泉等を広く立ち寄り、周遊は復興道路等を利用。
- ◆開催月の観光地の入込客は、釜石市街地や道の駅で前年比約30%の増加、浄土ヶ浜で約60%の増加であった。
- ◆「快適でまた来たい」とリピート観光の感想の他、観戦以外の動機では「復興した姿を見たい・盛り上げたい」など復興支援の関心が高い。

## ■ワールドカップ観戦者の試合当日、前後日に訪れた観光地

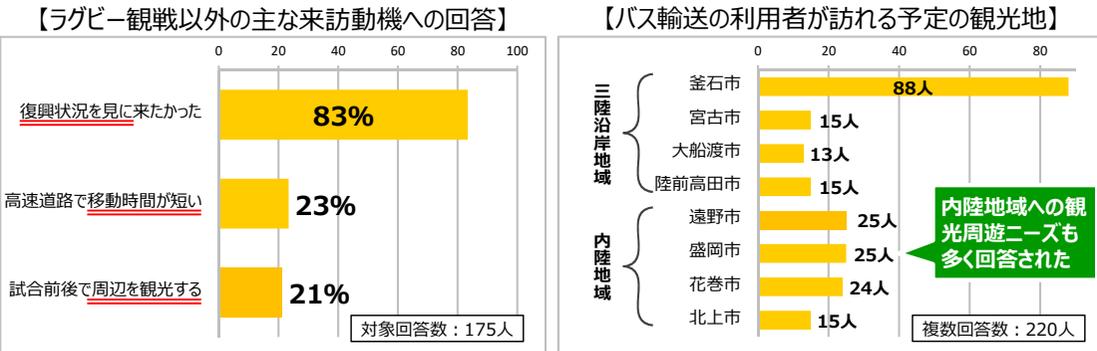
【観戦者の位置情報に基づく主な観光周遊先の分布図】



## ■ワールドカップ開催時における観光施設の入込客増加



## ■ワールドカップ観戦を契機とした来訪の動機付け・移動時の感想



出典：復興道路・復興支援道路に関するアンケート調査結果 (南三陸国道事務所) 道の駅 遠野風の丘での立ち寄り休憩

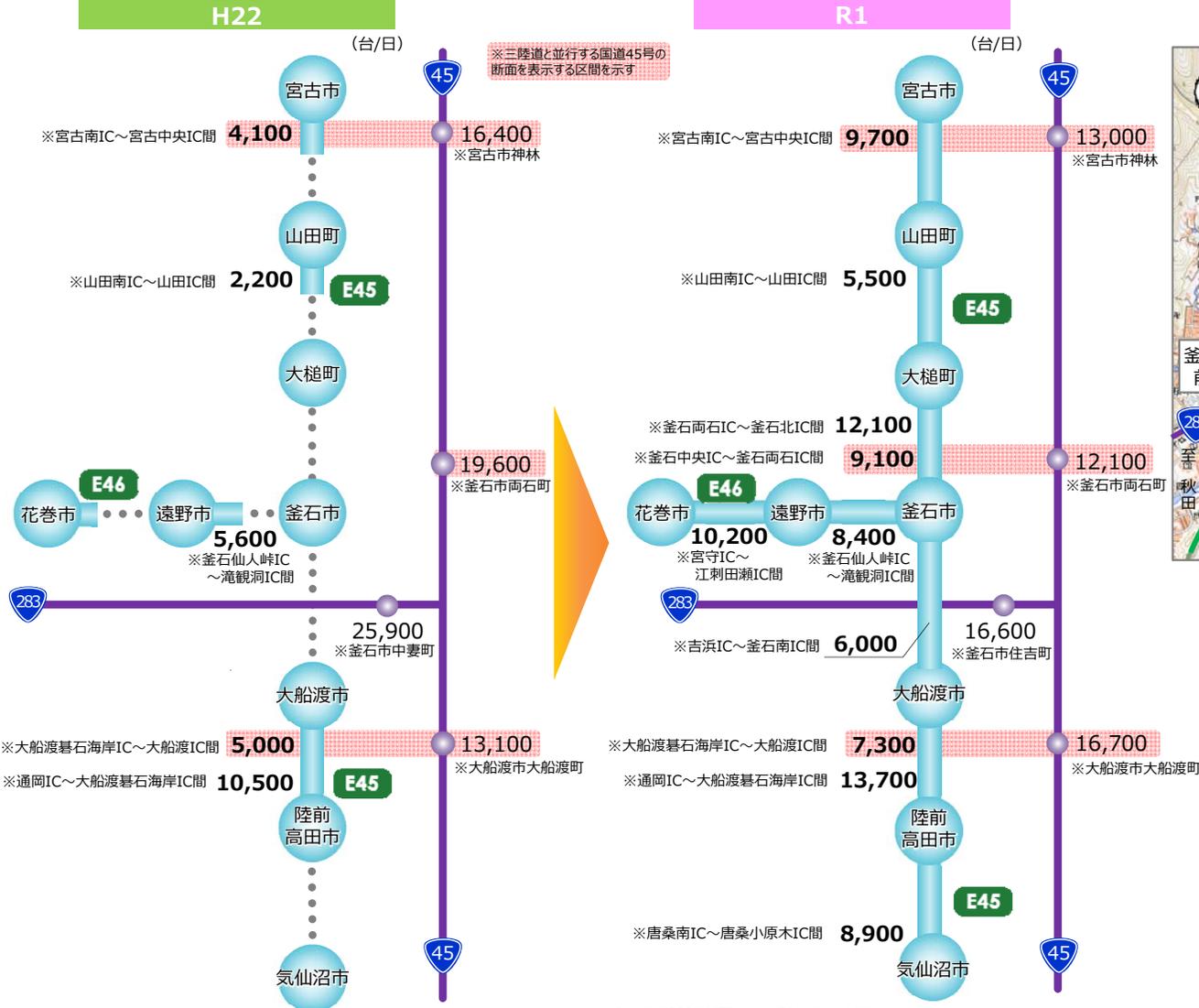
《 動機や感想の自由意見など 》

- 釜石や鶴住居スタジアムに向けて、頑張った方々を応援したかった。
- 釜石を盛り上げたかったから。
- 適宜なトイレ休憩に感謝。
- ※「快適でまた来たいと思った」などリピート観光客が期待できる感想も多く寄せられた。

# 交通状況

- ◆三陸沿岸道路 気仙沼～宮古間は最大13,700台/日が利用。並行する国道45号と合わせた断面交通量はH22比で1.1～1.3倍。
- ◆東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）では最大10,200台/日が利用。釜石市内の国道283号交通量は約4割減少。
- ◆釜石市の国道45号及び国道283号では主要渋滞箇所2箇所が特定解除予定、国道283号の市街地で約5km/hの速度向上。

## ▼三陸沿岸道路・東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)と国道283号・国道45号の交通量変化

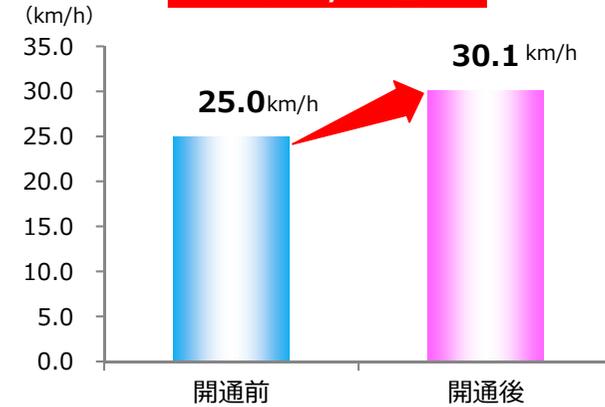


## ▼主要渋滞箇所と速度の変化



資料：出典：地理院地図に所在地等を追記して掲載

国道283号市街地で約5km/h向上



資料：ETC2.0様式2-3、10月平日平均、8時台、上下平均  
(国道283号、釜石中央IC～松原交差点)  
・開通前 H30年  
・開通後 R1年

【出典】 H22：H22道路交通センサ  
R1：車両感知器データ (R1年10月平日平均)  
※R1 国道283号釜石市住吉町の交通量の出典  
「断面交通量情報」(公益財団法人日本道路交通情報センター)  
(<http://public-data.jartc-raws.durasite.net/opendata.html>) (R1年10月平日平均)  
「断面交通量情報」(公益財団法人日本道路交通情報センター)  
(<http://public-data.jartc-raws.durasite.net/opendata.html>) を加工して作成